

自然科学研究機構国立天文台 特任研究員または特任助教（年俸制職員、研究課題「原始惑星系円盤の化学」）募集

【募集人員】 特任研究員 2名、または特任助教 1名

【職務内容】

国立天文台チリ観測所では、日本国内の大学に在籍する研究者に ALMA を用いた科学研究を推進していただくため、「ALMA 共同科学研究事業」を設立しました。ALMA 共同科学研究事業については、以下を御覧ください。

https://researchers.alma-telescope.jp/j/support_programs/almagrant/

本事業に基づき、ALMA の観測データ（アーカイブを含む）を用いた研究課題「原始惑星系円盤の化学」を推進する特任研究員または特任助教を募集します。本研究課題の採択者である東京大学・相川祐理教授の指導の下、本特任研究員または特任助教には勤務時間の 100% を用いて本研究課題を推進すると共に、ALMA プロポーザルも積極的に提出していただきます。研究成果として、投稿論文の出版（特任研究員は年 1 編以上、特任助教は年 2 編以上）と ALMA プロポーザルの提出（特任研究員は年 1 件以上、特任助教は年 2 件以上）に加え、本研究課題を推進する場合に限り、学生の研究等への指導・支援を行っていただきます。

【研究課題】

- ・ 研究課題名：

（和名）原始惑星系円盤の化学

（英語名）The Chemistry of Protoplanetary Disks

- ・ 研究概要：

円盤内のダストやガスの組成は、惑星の材料、初期組成を決める。特に揮発性元素は分子組成と円盤内の温度分布に従って固相・固相への分配が変化し、その分配が惑星系形成に強く影響する。固相に入ればダストの衝突合体効率を上げ、のちに形成される惑星の大気や海の存在を左右する。揮発性元素の気相での存在比は（系外）ガス惑星の大気に反映され、その惑星が形成された温度領域の指標となり得る。揮発性分子の気相存在度は、円盤のガス質量や散逸過程、速度構造等を輝線観測から探る上でも重要である。本研究では、T Tauri 型星、Herbig Ae 星、FU Ori 型星に付随する円盤の連続波、分子輝線観測（ALMA cycle 6 Large Program "The Chemistry of Planet Formation"を含む）を組み合わせることにより、惑星系形成領域の揮発性物質の組成、同位体比、気相・固相分配とその進化に迫る。

【所属（勤務地）】 東京大学（東京都文京区）

※ 国立天文台で採用し、同日付で東京大学と国立天文台で在籍出向契約を結び当該大

学へ出向していただきます。

【身分・待遇】

- ・ 給与は年俸制。特任研究員の場合は月額 35 万円、特任助教の場合は月額 55 万円を毎月支給。
- ・ 通勤手当を支給（上限 55,000 円／月）
- ・ 健康保険（文部科学省共済組合）、年金（厚生年金）、雇用保険および労災保険に加入
- ・ ボーナス、退職金の支給はありません。

（出向時の勤務条件）

- ・ 週 5 日（月～金）裁量労働制勤務（土、日、祝日、年末年始は休日）
- ・ 有給休暇（年次有給休暇、夏季休暇、忌引他）あり

【着任時期】 平成 31 年 4 月 1 日以降、なるべく早い時期

【契約期間】

- ・ 本特任研究員または特任助教の契約期間は原則2年間ですが、本研究課題は、本特任研究員または特任助教の着任から 1 年半経つ日までに中間審査が実施され、その結果、契約期間が 1 年間延長されることがあります。また、中間審査の結果、本研究課題が通算 5 年間の計画に延長されることがあります。それに伴い、契約期間の再延長が可能となり、1 年毎に業績評価を実施した上で、契約期間の通算が 5 年間になることがあります。
- ・ ただし、平成 25 年 4 月 1 日以降に自然科学研究機構に雇用歴がある場合、平成 25 年 4 月 1 日以降の通算雇用期間が 10 年を超えないように契約期間が設定されます。
- ・ 採択者が他大学または他機関に異動された場合、共にその大学または他機関に異動していただくこととなりますが、異動先で本特任研究員または特任助教を受け入れることができなかった場合、就業場所を国立天文台（東京都三鷹市）として研究を継続していただくこととなります。

【応募資格】 関連分野で博士の学位を有するか、それと同等の研究能力を有する者。

【提出書類】

- ・ 以下の提出書類を英文で作成し、全てを PDF に変換して、応募締切までにメール添付で下記アドレス宛にお送りください。

alma-grant-application_atmark_alma.mtk.nao.ac.jp（_atmark_を@に置き換えてください）

※ PDF 作成にあたっては解像度に注意し、あまり容量が大きくなり過ぎないように

してください（メール一通につき最大 10MB 程度まで）。

※ 電子メールの応募を受領した場合、確認のため受領のメールを返送します。受領のメールが祝休日を除く 2 日以内に返送されない場合、上記アドレス宛にお問合せください。

※ メール の 件名（Subject）には、応募する研究課題名を明記してください。

・ 提出書類

(1) カバーレター（研究課題名を明記すること）

(2) CV

(3) 研究論文リスト（査読論文とその他を区別し、共著論文の場合は応募者の役割分担を記すこと）

(4) 主要論文 3 編以内の PDF ファイル

(5) 職務に対する抱負と計画

(6) 推薦書 2 通以上（推薦書は、推薦者が応募締切までに提出先に直接送ること）

(7) 速やかに連絡できる本人連絡先

・ 応募締切：平成 30 年 11 月 21 日(水) 日本時間 15:00 必着

【採用の決定】

- ・ 特任研究員の場合、国立天文台有期雇用職員等審査委員会での承認が必要となります。特任助教の場合、国立天文台運営会議での承認が必要となります。
- ・ 応募時に職種を希望することはできますが、決定は選考結果によります。

【問合せ先】

- ・ 応募に関する問合せ：

国立天文台 事務部総務課人事係

E-mail: apply-qa_atmark_nao.ac.jp（_atmark_を@に置き換えてください）

- ・ 研究内容に関わる問合せ：

東京大学大学院理学系研究科天文学専攻 相川 祐理 教授

E-mail: aikawa_atmark_astron.s.u-tokyo.ac.jp（_atmark_を@に置き換えてください）

- ・ その他：

国立天文台 チリ観測所 ALMA 共同科学研究事業担当

E-mail: alma-grant_atmark_alma.mtk.nao.ac.jp（_atmark_を@に置き換えてください）

【その他】

- 科学研究費等の外部資金獲得は可能ですが、研究課題に即した内容であるかどうかを国立天文台チリ観測所が判断した上で認められることとなります。
- 国立天文台は男女雇用機会均等法を遵守し、男女共同参画社会の実現に向けた取り組みを進めており、業績の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。詳しくは <http://open-info.nao.ac.jp/danjokyodo/> を御覧ください。
- 本事業で採用された特任研究員は、以後、国立天文台の特任研究員（プロジェクト研究員）への採用が制限されます。詳細はお問い合わせください。

以上